

阿武隈地域復興

シンポジウム

三宅島の人々は、全島避難からのこの時期をどう乗り越え、将来を見据えたのだろうか…。厳しくも貴重な体験を、阿武隈の将来を考えるヒントに！

あの日から1年半、 今私たちが考える べきこととは!?

●阿武隈地域は、県内26市町村にまたがる広大な地域です。水田や里山など日本の原風景が広がり、凍み餅などに代表される郷土食が数多く残る地域であり、豊かな自然と農林資源をもとに定住・二地域居住の取組みや地域産業6次化の取組みなどを進めていました。●ところが、東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、原発に隣接する地域は警戒区域や計画的避難区域となり、今なお避難生活を余儀なくされ、避難対象外の地域においても風評被害により来訪者が激減しています。●災害により一度ふるさとを離れた経験のある東京都三宅島の平野祐康前村長をお迎えし、その厳しくも貴重な体験をお話いただく《基調講演》、阿武隈地域活性化に尽力されている方々による《パネルディスカッション》を通して、今後の阿武隈地域の復興や地域の活性化について、参加者の皆さんとともに考えたいと思います。

参加
無料

平成24年

開場13:00
13:30~16:00
10月6日(土)

二本松市東和文化センター

福島県二本松市針道字上台132

※このシンポジウムは全道一ターボ特産品販売促進協議会からの協賛を受けて実施するものです。

▼二本松市東和の「諏訪神社例大祭」も開催中

10月7日の「あばれ山車」本番を前に、山車が町内を回ります。道の駅による阿武隈地域の特産品販売も同時開催!



参加希望の方は事前申し込みをお願いします

裏面をご覧ください

主催/自治総合センター・福島県
共催/福島県阿武隈地域振興協議会
問い合わせ/福島県地域振興課

Tel.024-521-7118 Fax.024-521-7912

【第1部】 基調講演

「三宅島の全島避難に学ぶ、復興までの道のり」

(講師)

東京都三宅村前村長 平野 祐康 氏

【第2部】 パネル ディスカッション

「阿武隈地域の復興を
いかに進めていくか」

(パネリスト)

福島県川内村 遠藤 雄幸 村長
道の駅ひらた 高野 哲也 駅長
葛尾じゅうねん企業組合 松本 順子 理事長

(コメンテーター)

東京都三宅村前村長 平野 祐康 氏

(コーディネーター)

あぶくま地域づくり推進機構 有賀 繁美 事務局長

三宅村前村長・平野氏をコメンテーターに、帰村宣言し復興を進めている川内村長、これまで阿武隈地域で先進的な取組みを進めてきた道の駅、企業組合の代表によるパネルディスカッション。



東京都三宅村前村長 平野 祐康 氏

(ひらの すけやす)

昭和23年(1948)生まれ。

昭和46年(1971) 東京都三宅村役場入庁

企画財政課長、復興準備室長を歴任。

平成12年(2000)、未曾有と言われた三宅島雄山噴火災害に直面。全島民の島外避難、その後4年半にも及ぶ避難生活を経験。

平成16年(2004)東京都三宅村長に就任、悲願の帰島と復旧復興の陣頭指揮にあたる。

東日本大震災(2011年3月11日)以降、三宅島噴火災害に関わる経験と記憶を元に、被災地域の再建に向けた多様な取組を支援している。

駐車場のご案内

東和町文化センター又は二本松市役所東和支所の駐車場をご利用ください。(左記地図参照)
あばれ山車開催のため、なるべく東和支所への駐車をお願いします。道路横断の際はご注意ください。

※駐車台数には限りがございます。
※マイクロバス等でお越しの場合は事前にお問い合わせください。

会場へのアクセス

- 電車でお越しのお客様 >>>>> JR二本松駅から、車で30分
- 車でお越しのお客様 >>>>>>> 東北自動車道二本松ICから、車で30分

●申込方法・申込先●

申込方法	平成24年10月3日(水)【必着】までに下記申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。なお、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
申込・問い合わせ	〒960-8670(住所記載不要) 福島県地域振興課 行き Tel.024-521-7118

FAX 024-521-7912

福島県地域振興課「阿武隈地域復興シンポジウム」申込書

フリガナ 代表者氏名	
ご連絡先(電話番号)	
ご職業(所属)	
代表者以外の参加者氏名	

※参加申込書に記入していただく個人情報は、参加者への連絡・通知・参加者名簿の作成以外で使用することはありません。